

村上市における成年後見制度に関する実態調査票
 ≪施設・事業所向け調査票≫

本アンケートは、令和3年7月1日を基準日として作成してください。

法人名		施設・事業所名	
回答者(役職・氏名)		連絡先(TEL)	

問1 貴施設・事業所を利用・又は担当している方(利用者)は何名いますか。

_____名【A】_____

問2 【A】のうち、現在、成年後見制度を利用している利用者はいますか。該当する項目に○を付してください。「いる」場合はその人数もご記入ください。

☐ ① いる … _____名 ☐ ② いない

問3 現在、成年後見制度を利用していない利用者のうち、以下の項目に該当する方はいますか。以下の項目に該当する人数を解答欄にご記入ください。なお、1人で二つ以上の項目に該当する場合には、特に支障が生じている項目を一つだけ選択してください。該当しない場合は記入不要です。

		回答欄	
財産管理	① 本人の判断能力が不十分であるため、預貯金の払い出しや解約、保険金の受け取りができない。		人
	② 本人の判断能力が不十分であり、商品を次々購入する等、収入に見合った適切な支出ができない。		人
	③ 公共料金や税金、介護・福祉サービス利用料、その他借金等を滞納しているが、本人の判断能力が不十分であるため、適切に対応できない。		人
	④ 本人の判断能力が不十分であるにもかかわらず、管理すべき財産が多額(おおよそ1,000万円以上)である。		人
虐待被害等	⑤ 本人の判断能力が不十分であるため、悪質な商法に騙される恐れがある、又は過去に騙されたことがある。		人
	⑥ 本人の判断能力が不十分であるため、家族や親族、知人等から預金や年金を取り上げられるなどの経済的虐待を受けている、又はその疑いがある。		人
	⑦ 本人の判断能力が不十分であり、家族や親族、知人等から上記⑥以外の虐待(身体、心理、性的、ネグレクト等)を受けている、又はその疑いがある。		人
法律行為	⑧ 本人の判断能力が不十分であり、診療・入院契約や介護・福祉サービスの利用契約が進まない。		人
	⑨ 本人の判断能力が不十分であるため、遺産分割協議などの相続手続きができない。		人
	⑩ 不動産の処分(売却、賃貸、抵当権設定等)の必要があるが、本人の判断能力が不十分であるため、適切に対応できない。		人
その他	⑪ 本人に身寄りがいない、又は身寄りがいても疎遠であつたり協力を得ることが困難であるため、将来にわたって支えとなる人が必要である。		人
	⑫ その他困難な事情があり、本人の判断能力が不十分であるため、適切に対応できない。		人
【			
合計			人

問4 問3で合計人数が1人以上いる場合にお答えください。
当該利用者が成年後見制度を利用する場合の申立人や後見人候補者についてうかがいます。

		回答欄	
①	親族があり、申し立てや後見人就任にも協力的と思われる。		人
②	親族はいるが協力を得ることが困難(※)と思われる、もしくは身寄りがない、又は隣接市内に頼れる親族がいないため、市長による申し立てや弁護士等第三者後見人の就任が必要と思われる。		人
合 計			人

(問3で回答した合計人数と合致)

(※)「協力を得ることが困難」である主な例としては、以下のとおりです。
 ・親族はいるが協力を事実上拒否されている(又は連絡がつかない)。
 ・親族が身体的又は精神的問題等を抱えており、利用者のことを任せられない状況にある。
 ・親族から虐待(身体的・精神的・経済的・性的・ネグレクト等)を受けている(又は過去に受けていた)状況にある。
 ・本人と親族間に何らかの利害対立が生じている。
 など

問5 問4で②の人数が1人以上いる場合にお答えください。
当該利用者の主症状をご回答ください。1人で二つ以上の属性に該当する場合には、主要な属性を一つだけ選択してください。

		回答欄	
①	認知症、又は明確な診断は無いものの認知症が疑われる者		人
②	知的障害者、又は明確な診断は無いものの知的障害が疑われる者		人
③	精神障害者、又は明確な診断は無いものの精神障害が疑われる者		人
合 計			人

(問4で回答した②の合計人数と合致)

問6 問4で②の人数が1人以上いる場合にお答えください。当該利用者の年代をご回答ください。

		回答欄	
①	19歳以下		人
②	20代		人
③	30代		人
④	40代		人
⑤	50代		人
⑥	60代		人
⑦	70代		人
⑧	80代		人
⑨	90歳以上		人
合 計			人

(問4で回答した②の合計人数と合致)

問7 問4で②の人数が1人以上いる場合にお答えください。
当該利用者の月々の平均収入額をご回答ください。なお、収入源としては年金や工賃、生活保護費などを想定しています。(年金収入の場合は1月あたりの金額に換算してください。)

		回答欄		うち生保の数	
①	6万円未満		人		人
②	6万円以上12万円未満		人		人
③	12万円以上18万円未満		人		人
④	18万円以上		人		人
⑤	不明		人		人
合 計			人		

(問4で回答した②の合計人数と合致)

問8 問4で②の人数が1人以上いる場合にお答えください。
当該利用者に対し、現状ではどのような対応をされていますか。当てはまる項目全てに○をご記入ください。

当該利用者に対し、現状ではどのような対応をされていますか。当てはまる項目全てに○をご記入ください。

	回答欄
① これまで利用していた日常生活自立支援事業を継続して利用している。	
② 施設・ケアマネジャー等が通帳を預かるなどして預貯金の払出し等必要な手続きを肩代わりしている。	
③ 協力的でない親族にお願いして、限定的に関わってもらうことで、その場その場をなんとかしのいでいる。	
④ 民生委員や友人・知人・近所の方など、親族ではないが当該利用者と親しい関係の第三者に関わってもらっている。	
⑤ 生活保護担当など行政が関わっている。	
⑥ 方法がなく、必要なサービスが受けられない状態である。	
⑦ その他【	】

問9 問3で合計人数が1人以上いる場合にお答えください。当該利用者が成年後見制度利用につながっていない理由は何ですか。当てはまる項目全てに○をご記入ください。

[illegible]

問10 成年後見制度の取組みについて意見等をお書きください。(自由記述)

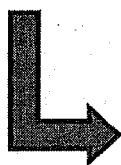
以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

村上市における成年後見制度に関する実態調査票
 ≪専門職後見人向け調査票≫

回答者ご氏名		職業・資格	
--------	--	-------	--

問1 あなたは令和2年度に成年後見に関する業務を受けたことがありましたか。該当する項目に○を付してください。また、「ある」と答えた方は、その内容について該当する項目に○を付してください。

☐ ①ある	☐ ②ない
------------------------------	------------------------------



☐	①成年後見申立書類の作成
☐	②成年後見人受任の依頼
☐	③その他()

問2 あなたは令和3年7月1日現在、成年後見人等(後見監督人を除く。以下同じ。)に選任されていますか。該当する項目に○を付してください。また、選任されている場合には件数についても教えてください。

☐ ①選任されている	…		名	☐ ②選任されていない
-----------------------------------	---	--	---	------------------------------------

問3 成年後見人等の選任の有無にかかわらず、あなた自身、最大あと何件まで成年後見人等を受任することが可能と考えていますか。

	件
--	---

問4 あなたは令和2年度の1年間において、成年後見人等の打診を受けたことがありますか。該当する項目に○を付してください。また、打診を受けたことがある場合は、打診を受けた人数について教えてください。

☐ ①ある	…		名	……【A】	☐ ②ない
------------------------------	---	--	---	-------	------------------------------

問5 問4で「ある」と答えた方に質問です。打診を受けた際、どのように対応しましたか。【A】の内訳を教えてください。

①	受任した		人
②	断った		人
③	他者を紹介した		人
④	保留している		人
⑤	その他()		人
合 計			人

(問3で回答した【A】の人数と合致)

問6 問5で「②」～「⑤」に該当した方に質問です。成年後見人等の就任に支障となっている点は何でしょうか。該当する項目全てに○を付してください。

☐	①すでに成年後見人等に就任しており、これ以上引き受けられない。
☐	②後見等報酬が見込めない。
☐	③後見人等となった経験がない。
☐	④自分では対応が困難な事例である。
☐	⑤勤務先(会社・施設等)の都合で受任件数に制限がある。
☐	⑥その他()

問7 村上市では、成年後見制度利用支援事業実施要綱で後見人等に対する報酬の助成を行っています。この制度をご存じですか。

☐	①知っている	☐	②知らなかった
--------------------------	--------	--------------------------	---------

問8 あなたは村上市において第三者後見人の受け皿不足を実感していますか。該当する項目に○を付してください。実感している場合は、どのような施策が受け皿不足の解消に有効と思われますか。最も有効と思われるもの一つに○を付してください。

☐	①第三者後見人の受け皿不足を実感していない。
☐	②第三者後見人の受け皿不足かどうか分からない。
☐	③第三者後見人の受け皿不足を実感している。
☐	ア. 社会福祉協議会等による法人後見の実施
☐	イ. 市民後見人の養成
☐	ウ. 親族後見人を増加させるための取組み
☐	エ. 第三者後見人への公的な報酬助成の範囲の拡大
☐	オ. その他()

問9 今後、村上市で成年後見制度の活用推進の取組みを行う場合、専門職後見人としてあなたの協力は頂けますか。協力できる場合、該当する項目全てに○を付してください。

☐	①市民後見人養成研修時の講師
☐	②法人後見事業における運営委員会の委員、アドバイザー等
☐	③市民向け成年後見制度普及・啓発セミナー等の講師
☐	④協力できるかもしれないが、現時点では不明
☐	⑤その他()

問10 成年後見制度の取組みについて意見等をお書きください。(自由記述)

--

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

村上市における成年後見制度に関する実態調査票
 ≪社会福祉法人向け調査票≫

本アンケートは、令和3年7月1日を基準日として作成してください。

法人名		施設・事業所名	
回答者(役職・氏名)		連絡先(TEL)	

問1 貴法人は基準日現在、法人後見業務を行っていますか。該当する項目に○を付してください。また、「行っている」と回答した場合は、受任件数(対象者で村上市に住所の有する方)についても教えてください。

☐ ①行っている	…		件	☐ ②行っていない
---------------------------------	---	----------------------	---	----------------------------------

問2 問1で「①行っている」と答えた方に質問です。成年後見人等の選任の有無にかかわらず、最大あと何件まで成年後見人等を受任することが可能と考えていますか。

	件
----------------------	---

問3 問1で「①行っている」と答えた方に質問です。法人後見業務を行うなかで苦慮している点があれば記入ください。

問4 問1で「②行っていない」と答えた方に質問です。法人後見業務を行っていない理由について、該当する項目全てに○を付して下さい。

☐	①対応出来る専門職がない
☐	②他業務との兼務が難しい
☐	③法人として法人後見について関心が無い
☐	④法人後見の手続き方法等がわからない
☐	⑤その他()

問4 問1で「②行っていない」と答えた方に質問です。法人後見業務について法人内で検討したことはありますか。該当する項目に○を付して下さい。

☐	①過去に検討したことがあったが、取り組まないこととなった
☐	②現在検討中である
☐	③検討したことはないが、今年度中に検討する予定である
☐	④検討したこともないし、今後検討する予定もない
☐	⑤その他()

問5 村上市では、成年後見制度利用支援事業実施要綱で後見人等に対する報酬の助成を行っています。この制度をご存じでしたか。

☐ ①知っている	☐ ②知らなかった
---------------------------------	----------------------------------

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。